

スペーシア Xの導入を契機としたプロジェクト



「#アップサイクル TOCHIGI」プロジェクト第二弾として
日本ラクロス協会と共創します

東武鉄道、東武トップツアーズ株式会社、クラブツーリズム株式会社、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社X P J Pは、栃木県を舞台に鉄道から始まる新しい旅行やライフスタイルを共創するプロジェクト「#アップサイクルTOCHIGI」を遂行しています。この度、本プロジェクトのSDGsツーリズム分野の連携パートナーである公益社団法人日本ラクロス協会と連携し、第二弾となる活動を実施いたしますので、お知らせします。



公益社団法人日本ラクロス協会と#アップサイクルTOCHIGI事務局では、ラクロス企画会社であるサムライラクロス合同会社と連携し、8月6日（土）～7日（日）にラクロス関係者の親子を対象とした「ラクロス・キャンプin TOCHIGI」としてテストマーケティングを実施します。

今回の取り組みを通じて、栃木県での大会開催や合宿誘致等だけでなく、ジュニアラクロスを基軸とした沿線地域のコンテンツや鉄道を活用した新しいスポーツツーリズムの創出を議論していきます。

本キャンプを通じて創出されたアイデアについては、本プロジェクトに共催・参画する栃木県、旅行代理店、連携パートナー各社とともに実現に向けて検討を進めてまいります。

また、本活動の内容は「#アップサイクルTOCHIGI」プロジェクトの主旨や今後の活動予定等を広くお知らせをすることを目的とした特設サイト（<https://upcycle-tochigi.com>）でもご確認いただけます。是非ご覧ください。



△ ジュニアラクロス（イメージ）

■第2弾「#アップサイクルTOCHIGI」詳細について

ラクロスというスポーツの起源は、古くは北米のネイティブ・アメリカンだと言われています。キャンプ参加者の皆さんと、栃木県の豊かな緑の中でのラクロスアクティビティを行いながら、大いなる自然に触れ、スポーツが果たせる役割を考えるとともに、鉄道のあり方や、沿線価値向上について議論します。

- ・名称 : 「ラクロス・キャンプ in TOCHIGI」テストマーケティング
- ・主催者 : サムライラクロス合同会社
- ・協力 : 公益社団法人日本ラクロス協会、#アップサイクル TOCHIGI 事務局
- ・開催期間 : 2022年8月6日(土)から8月7日(日) 1泊2日
- ・開催内容 : 栃木県日光市内、今市青少年スポーツセンター他にてラクロスアクティビティやファミリーキャニオニング、キャンプファイヤー等を行います。本キャンプを通じて得た知見を活かし、栃木県の特徴を活かした自然共生型のスポーツ振興を目指し、ラクロスを通じた未来共創を推進していくことを目的とします。

■日本ラクロス協会からのメッセージ（日本ラクロス協会 最高戦略責任者 安西 渉）

2020年から続くコロナ禍によってスポーツを取り巻く環境は激変し、各スポーツが本質的な価値を再考する必要に迫られました。2021年の東京オリンピック・パラリンピック。誰にとっても難しい状況の中であっても、それぞれの国を背負い、誇り高く戦う選手たちの姿勢が感動を与えてくれた一方で、国や各選手のバックグラウンドを超えた繋がりをもつスポーツが一躍脚光を浴びた大会となりました。以降、スポーツが持つ、競技としての特性だけでなく、社会と繋がるツールとしての側面が一層際立っています。

ラクロスのルーツである北米ネイティブ・アメリカンの文化は、自然や社会との調和を重んじてきたと言われています。子どもたちと一緒に、大人たちも童心に返って自然の中で等しく遊ぶことも、あるべきスポーツの一つの形ではないか。今回のテストマーケティングはそのようなアイデアから生まれました。

日本ラクロス協会は「#アップサイクルTOCHIGI」のコンセプトに共感し、栃木県・東武鉄道・旅行代理店・パートナー各社との連携を通じて、新しいスポーツの在り方、そして、新しい地域社会との関わり方を一緒に模索したいと考えています。大会開催や合宿誘致等の従来型な取り組みを検討することもさることながら、小学生を対象としたジュニアラクロスを基軸とした沿線地域のコンテンツ強化、地域ブランディングなど、「鉄道」ならではのネットワークを活用した新しいスポーツツーリズムの創出にも期待しています。



以上